

平成 25 年6月 20 日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: ようろう 和みの家

グループの名称: 養老ユニオン住宅

平成24年度  
採択グループ番号: 01-0321-0205

(平成25年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名: 伊藤 嘉美 代表者印  
代表者所属先: ダイモ住建  
代表者構成員番号: VI-6  
代表者住所: 岐阜県養老郡養老町押越331番地  
電話番号: 0584321055

(グループ事務局)

事務局事業者名: 佐藤孝典一級建築士事務所  
事務局構成員番号: V-1  
事務局担当者名: 佐藤 孝典 印  
事務局郵便番号: 503-1332  
事務局住所: 岐阜県養老郡養老町中280番地  
事務局電話番号: 0584323825  
事務局FAX: 0584323961  
事務局担当者E-mail: satoato@ccnet.ne.jp

※ 平成24年度採択グループは、平成24年度に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点がかかるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	よろう 和みの家		
2. グループの名称(必須)	養老ユニオン住宅		
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岐阜県西濃地域		
4. 結成年月(必須)	平成24年8月1日		
5. グループ代表者名(必須)	伊藤 嘉美		
6. グループ代表者の所属先(必須)	ダイモ住建		
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-6		
8. グループ代表者所在地(必須)	岐阜県養老郡養老町押越331番地		
9. グループ代表者電話番号(必須)	0584321055		
10. グループ事務局事業者名(必須)	佐藤孝典一級建築士事務所		
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1		
12. グループ事務局担当者名(必須)	佐藤 孝典		
13. グループ事務局郵便番号(必須)	503-1332		
14. グループ事務局所在地(必須)	岐阜県養老郡養老町中280番地		
15. グループ事務局電話番号(必須)	0584323825		
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0584323961		
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	satoato@ccnet.ne.jp		
(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。			
I. 原木供給	3	/	
II. 製材・集成材製造・合板製造	2		
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3		
IV. プレカット	2		
V. 設計	1		
VI. 施工	9		
VII. 木材を扱わない流通			
VIII. I～VII以外の業種	1		
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
	今須スギ	岐阜県	岐阜県産材認証制度
	東濃ヒノキ	岐阜県	岐阜県産材認証制度
	長良スギ	岐阜県	岐阜県産材認証制度
B. 平成25年度における地域型住宅の供給予定戸数等 (必須)	地域型住宅の供給予定戸数	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち長期優良住宅	2戸	2戸
	地域型住宅による地域材使用予定	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち長期優良住宅分	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>
注: 本補助金の活用により、長期優良住宅の受注に取り組む。昨年度の長期優良住宅の受注が0件であったため今年は最低1件受注する設定をした			
注: 地域型住宅には過半以上の地域材を使用する率としているから左記の予定の数量を設定			
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	住宅新築の少ない地域のため早期受注者を優先する		
D. 平成24年度の執行状況 (H24年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付申請件数	完了実績見込み
	0戸	0戸	竣工済 0戸 竣工予定 0戸

注1)代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社〇(株)×

注2)郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3)電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4)採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

















1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) よろう 和みの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県西濃地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 養老ユニオン住宅	(結成年月) 平成24年8月1日
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 3 2 1 - 0 2 0 5	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a.【地域型住宅よろう和みの家の取り組み】</p> <p>【平成24年度の取り組みにおける課題】</p> <p>年間事業計画に基づいて国土交通省の地域型住宅ブランド化事業について広報活動を行いつつ原木供給者(西南濃森林組合)の間伐材等の枝処理作業手伝い相互理解を行った。しかし、地方の経済状況は最悪であり、消費者に対して認知が行き渡らなかった。</p> <p>【課題解決に向けた平成25年度の取り組み】 平成25年度はまず地域型住宅ブランド化事業の一層の啓発活動に力を入れイベント活動・優良住宅の使いやすさ等を研究しつつ、Webサイト強化を計りマーケティング・マーケティングツールの強化を計って行くとする。</p>		
	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等(性能や地域性等)における共通ルール (任意)	新聞広告、ホームページ、イベントを開催する 木の家の良さをもっと前面に出す	長期優良住宅の良さ、[補助金、税制面を銀行、瑕疵保険、設計担当者等]が消費者に専門的な立場から説明する。 モデルを多く展示してゆく
イ. 効率的で持続性のある住宅生産体制の整備 (a 必須)		
【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a.【生産体制の整備の取り組み】</p> <p>【平成24年度の取り組みにおける課題】</p> <p>平成24年度の取り組みの結果、原木供給者から木材市場への供給量減少により良質の木材が少なくなった、これから、上から下への流通体制を再度考える必要があると考える。</p> <p>【課題解決に向けての平成25年度に追加する取り組み】</p> <p>日本経済の動向を注視しつつ見込み消費者をより多く見つけ出す、これは、インターネット、OB客の定期訪問して受注の拡大を計る。</p>		
	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール(任意)	瑕疵担保保険、設計性能評価の現場研修、研究会	アンケートを作成し冊子を作る

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) よろう 和みの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県西濃地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 養老ユニオン住宅	(結成年月) 平成24年8月1日
3. 平成24年度のグループ番号 (必須)	0 1 - 0 3 2 1 - 0 2 0 5	注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 (a 必須)

【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

a.【平成24年度の課題と点検】  
平成24年度の長期優良住宅の受注は無かったが他社との差別化を明確にして行く  
【平成25年度の実施】  
平成24年度の維持管理基本マニュアル、維持管理基本マニュアルシートを再点検を計り利用しやすい物にして行く

b.

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール (任意)	木造住宅の現場管理、施工計画、工程管理、品質管理を各工程ごとにシステム化されている	各工程ごとに委員会があり担当者が確認する
住宅履歴情報の保存方法 (任意)	データ化する	

エ. グループの技術力の向上 (a 必須)

【平成25年度における対応方針】 (平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)

a.【平成24年度の課題と点検】  
平成24年度は長期優良住宅の省エネルギー対策、劣化・維持管理対策について、今後の省エネ政策等について何度も勉強会を開催した。  
【平成25年度の実施】  
住宅保証機関を講師に招き長期優良住宅認定基準等のポイント、手続きの講義受け構成員のレベルアップに繋げて行く。又、弊社の「よろう和みの家」研究、開発に繋げる。

b.

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール (任意)	該当なし	該当なし

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。  
 ※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。  
 ※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ようろう 和みの家	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県西濃地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 養老ユニオン住宅	(結成年月) 平成24年8月1日
3. 平成24年度のグループ番号(必須)	0 1 - 0 3 2 1 - 0 2 0 5 注1	
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
オ. 地域産業の活性化(a, 必須)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 【平成24年度の課題とその対策】                      昨年度のこの地域の経済状況での住宅受注は厳しいものであった。地域材の使用部材に今須すぎを構造材、桁、梁、母屋等に一件当たり15-18㎡使い内装材をより多く使用した住宅のアピールが足らなかった。                      【平成25年度の取り組み】                      平成25年度は岐阜県の「ぎふ木の家ブランド化支援事業」にも参加をして利用拡大を促進する。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール(必須)	ぎふ性能表示材の促進、啓発を計る	住宅生産者は県内事業者4社以上で「ぎふ証明材登録事業者」加盟し「ぎふ性能表示材認証センター会員工場」が加盟している事
b.		
【平成25年度における対応方針】 地域の多くの建設業者の後継者不足、技術の伝承、コミュニティの減衰が早くこれをいかにと止めるかを地域全体で作作して行かなければならない弊社においても各種に建設業者の加入、コミュニティを維持して行きたい。		
d. 養老改元1300年祭事業が今自治体が推進していますが、この事業に参加をして街並み、景観、商工に寄与する。		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、街並みガイドライン等に関する共通ルール(任意)	該当なし	
その他(任意)		
【平成25年度における対応方針】(平成24年度採択グループは、平成24年度の課題とその対策も併せて記入ください)		
該当なし		

注1) 平成24年度採択グループのみ記載してください。

※) それぞれの項目について、平成24年度採択グループは、平成24年度の取り組みを踏まえた課題と平成25年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

※) グループの取組に関する補足説明は、様式3-3の「その他」の欄に記載してください。